

ほけんだより 臨時号

No.10
真野北小学校
保健室より



ひやくにちせき ちゅうい 百日咳にご注意ください

★百日咳とは

百日咳は、百日咳菌によっておこる感染症です。子どもから大人まで誰でもかかりうる病気ですが、とくに乳児は重症化しやすく、命に関わるリスクもある病気です。

大津市内でも毎年、小児を中心に感染者が出ています。

★学校保健安全法による 出席停止の取り扱い

学校において予防すべき感染症第二種に規定されており、

特有の咳が消失するまで、または5日間の抗菌薬による治療が終了するまで出席停止とされています。

★症状について

感染して、すぐに発症するのではなく、**潜伏期間が7～10日（最大20日）と長いのが特徴です。**

①カタル期

軽い咳や鼻水のような普通のかぜ症状で始まります。症状が進むにつれて、次第に咳の回数が増え、強くなります。

(1～2週間)



②痙咳期（けいがいき）

カタル期よりも強い咳がでます。短い咳が連続的に起こった後、笛のようにヒューと息を吸いこむのが特徴です。

(2～4週間)



③回復期

だんだん咳が収まってきます。

(最後2週間ほど)

★感染経路について

飛沫感染



接触感染



発症初期（咳が始まってから約2～3週間）は、最も感染力が強いです。

★治療について

抗菌薬治療が行われます。初期のカタル期に行うことで、症状が抑えられ、軽症で済みます。また、菌の排出される量や期間が抑えられます。

小さな子どもは重症化しやすいため、早期発見、早期治療が大切です。

咳が長時間続く、または発作性の咳が見られる場合は早めに受診してください。



★予防について

手洗い、咳エチケットにより自身や周囲への感染を予防しましょう。

小さいころからのワクチンを接種することも推奨されています。

不活化ワクチン（三種混合・四種混合・五種混合） 生後2か月～ 4回